

中小企業景況調査報告書

平成30年度第4・四半期（1～3月）

大江川河畔の桜



Cherry blossoms on the banks of Oogawa River

目 次

調査の要領	1
今期の概況	2
景況に対するコメント	3
景況の推移（全業種）前年同期比	4
景況の推移（繊維製造業）前年同期比	4
業種別集計表・新規設備投資集計表（全業種 100社）	5
業種別集計表・新規設備投資集計表（繊維製造業 49社）	6
景況の推移（全業種）業種別集計表 前期比	7
景況の推移（繊維製造業）業種別集計表 前期比	8
「直面している経営上の問題点」の集計表（全業種上位3位）	9
「直面している経営上の問題点」の集計表（各業種）	10～12
前年同期比のグラフ（全業種・各項目）	13～16

The Ichinomiya Chamber of Commerce & Industry

一宮商工会議所 中小企業相談所

調 査 の 要 領

- ・調査対象期間 調査対象期間は、「４～６月」「７～９月」「１０～１２月」「１～３月」の四半期毎とする。
- ・調査実施時期 調査実施時期は、「４～６月」「７～９月」「１～３月」については目安として各四半期二月目の２５日から末月の１日とし、末月の１日時点で調査する。また、「１０～１２月」については、目安として１１月１０日から１５日とし、１５日時点で調査する。
- ・調査の実施
（方 法） 調査は、日本商工会議所の調査様式を用いて調査実施時期に、原則として経営指導員が企業を訪問し、面接・聴き取りにより行う。
- ・調査対象企業数 １００事業所。

- ・調査対象企業 次の表のとおり
の業種

（１）景況調査対象事業所（１００）の内訳

業 種	事業所数
建 設 業	７
製 造 業	６１
（繊維製造業）	（４９）
（その他製造業）	（１２）
卸 売 業	１１
小 売 業	１１
サービス業	１０
合 計	１００

（２）繊維製造業対象事業所（４９）の内訳

業 種	事業所数
撚 糸 業	６
織物製造業	２２
染色整理加工業	１０
縫製加工業	３
そ の 他	８
合 計	４９

- ・分 析 方 法 １．ＤＩ（Diffusion Index）分析
「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値

２．ＤＩ分析は、「前年同期」及び「前期」との比較である。
- ・分 析 項 目 １．前年同期比
（１）業況 （２）売上 （３）採算 （４）資金繰り （５）従業員

２．前 期 比
（１）業況 （２）売上 （３）資金繰り
- ・その他の分析 １．設備投資 実施状況数
２．経営上の問題点 各項目をポイント加算

$\left[\begin{array}{l} 1 \text{ 位 } 3 \text{ ポイント} \\ 2 \text{ 位 } 2 \text{ ポイント} \\ 3 \text{ 位 } 1 \text{ ポイント} \end{array} \right]$

今 期 の 概 況

景況は一時的に悪化したが、来期はやや持ち直す見通し

1．前年同期比D I 値の分析

今期(表 1、3 参照)は、業況、売上、採算、資金繰り、従業員すべてのDI 値で前期実績を下回った。

来期は、業況、売上、採算、従業員のDI 値で今期実績を上回り、資金繰りのDI 値で今期実績を下回る見通し。

指標別の状況

- 業況DI 値は、前期実績▲4.0 から▲16.0 (12.0 ポイント減)となり、来期は▲6.0 (10.0 ポイント増)となる見通し。
- 売上DI 値は、前期実績2.0 から▲10.0 (12.0 ポイント減)となり、来期は▲9.0 (1.0 ポイント増)となる見通し。
- 採算DI 値は、前期実績▲11.0 から▲17.0 (6.0 ポイント減)となり、来期は▲16.0 (1.0 ポイント増)となる見通し。
- 資金繰りDI 値は、前期実績▲1.0 から▲2.0 (1.0 ポイント減)となり、来期は▲5.0 (3.0 ポイント減)となる見通し。
- 従業員DI 値は、前期実績▲3.0 から▲5.0 (2.0 ポイント減)となり、来期は▲2.0 (3.0 ポイント増)となる見通し。

繊維製造業の状況

- 今期(表 2、5 参照)は、従業員のDI 値で、前期実績を上回り、業況、売上、採算、資金繰りのDI 値で、前期実績を下回った。
- 来期は、業況、売上、従業員のDI 値で、今期実績を上回り、採算のDI 値で、今期実績横ばい、資金繰りのDI 値で、今期実績を下回る見通し。

2．前期比D I 値の分析

今期(表 7、8 参照)は、業況、売上、資金繰りすべてのDI 値で、前期実績を下回った。

指標別の状況

- 業況DI 値は、前期実績▲9.0 から▲17.0 (8.0 ポイント減)となった。
- 売上DI 値は、前期実績0.0 から▲27.0 (27.0 ポイント減)となった。
- 資金繰りDI 値は、前期実績▲1.0 から▲10.0 (9.0 ポイント減)となった。

繊維製造業の状況

- 今期(表 9、10 参照)は、業況のDI 値で、前期実績を上回り、売上、資金繰りのDI 値で、前期実績を下回った。

3．設備投資の動向

今期の設備投資は、前回調査値(51 件、31 事業所)に比べ、件数、事業所数ともに減少している。

今期の実績(表 4、6 参照)は38 件(28 事業所)。その主な内訳は、『生産設備』10 件、『O A 機器』8 件、『付帯施設』6 件となっている。

来期の計画(表 4、6 参照)は46 件(24 事業所)。その主な内訳(予定)は、『生産設備』12 件、『車両・運搬具』『付帯施設』各7 件、『土地』『O A 機器』各5 件となっている。

4．直面している経営上の問題点

業種別の直面している経営上の問題点(表 11 参照)は、多くの業種で経営上の問題点の上位に『需要の停滞』『仕入等単価の上昇』『従業員の確保難』を挙げている。

業 況 レ ポ ー ト

今期については次のようなコメントをいただきました。

A 社（製造業 <織物>）

繊維業界全体の中で、ニット製品は特に売れ行きが悪い。仕入価格の高騰により利益圧迫となっているが、これ以上は業況も悪化しないと見通している。消費増税の影響からか、増税前に製造依頼し商品在庫をストックしようと、前倒しで受注している感じがある。

B 社（製造業 <織物>）

今期は、カーシートメーカーが情報収集不足のため需要見込みを誤り、生産計画が変わったため業況が悪化した。また、衣料（特に、ニット）についても、暖冬の影響もあり、業況は悪い。

C 社（製造業 <織物>）

今秋冬のシーズン入りに際して再び羊毛原料が高騰、加えて暖冬によりコートなど重衣料の売れ行きが振るわず、今シーズンは厳しい業況となりそうである。

D 社（製造業 <染色整理加工>）

業界全体の業況は、人件費、原材料の高騰で低水準が続く。しかし、当社にあっては、後継者不足による廃業増加による同業者の減少により、年中忙しい。

E 社（製造業 <縫製>）

業界全体の仕事量は、減少傾向にある。同業者の廃業により、仕事が当社に回ってきたことにより、当社の業況は好転した。

F 社（製造業<食料品>）

暖冬の影響や核家族化により鍋を囲む等、家で調理する機会が減少しており売上が伸びず、業況は芳しくない。また、原材料や人件費も値上げしており利益を圧迫している。

G 社（卸売業<染料>）

納期が前年より早まっていることが影響し、今期は前年同期比売上増加となっている。今年も暖冬であったため、引き合いの減少が予想される。中国での環境汚染問題に関連して製造できない染料については価格が高騰していくものと予想される。

H 社（卸売業）<容器>

既存取引先である個人経営の飲食店などが減少する中、新規顧客開拓もなかなか進まず売上は減少し、厳しい状況である。

I 社（小売業）<仏具>

前期は、新年を迎える前に仏壇の修理をしておきたいとのニーズが多く売上は増加したが、今期はそのような依頼も少ない。今後は、消費増税に伴う駆け込み需要があるかもしれない。

景況の推移（全業種100事業所）

表 1

～ 前年同期比 ～

	H30. 1～3月	H30. 4～6月	H30. 7～9月	H30. 10～12月	今 期 H31. 1～3月	来期の見通し H31. 4～6月
業 況	▲22.0	▲ 5.1	▲ 8.0	▲ 4.0	▲16.0	▲ 6.0
売 上	▲30.0	▲ 4.0	4.0	2.0	▲10.0	▲ 9.0
採 算	▲27.0	▲ 6.1	▲12.0	▲11.0	▲17.0	▲16.0
資金繰り	▲14.0	▲ 7.1	▲ 2.0	▲ 1.0	▲ 2.0	▲ 5.0
従 業 員	▲ 7.0	6.1	2.0	▲ 3.0	▲ 5.0	▲ 2.0

景況の推移（繊維製造業49事業所）

表 2

～ 前年同期比 ～

	H30. 1～3月	H30. 4～6月	H30. 7～9月	H30. 10～12月	今 期 H31. 1～3月	来期の見通し H31. 4～6月
業 況	▲38.8	4.2	0.0	▲ 6.1	▲18.4	▲12.2
売 上	▲46.9	8.3	6.1	▲18.4	▲22.4	▲14.3
採 算	▲36.7	▲ 4.2	▲ 6.1	▲12.2	▲20.4	▲20.4
資金繰り	▲20.4	▲ 8.3	2.0	▲ 4.1	▲ 8.2	▲10.2
従 業 員	▲ 8.2	▲ 2.1	4.1	▲ 8.2	▲ 6.1	0.0

業 種 別 集 計 表 (全業種100事業所) ～ 前 年 同 期 比 ～

表 3

	事業所数	7	61	11	11	10	100	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業 況	好 転	1 (1)	9 (8)	1 (1)	2 (2)	4 (2)	17 (14)	▲ 16.0 (▲6.0)
	不 変	4 (4)	33 (38)	5 (9)	6 (8)	2 (7)	50 (66)	
	悪 化	2 (2)	19 (15)	5 (1)	3 (1)	4 (1)	33 (20)	
売 上	増 加	3 (2)	12 (8)	3 (1)	5 (3)	5 (3)	28 (17)	▲ 10.0 (▲9.0)
	不 変	1 (2)	24 (35)	4 (6)	3 (8)	2 (6)	34 (57)	
	減 少	3 (3)	25 (18)	4 (4)	3 (0)	3 (1)	38 (26)	
採 算	好 転	1 (1)	8 (6)	1 (0)	1 (1)	2 (1)	13 (9)	▲ 17.0 (▲16.0)
	不 変	3 (3)	36 (37)	6 (9)	8 (9)	4 (8)	57 (66)	
	悪 化	3 (3)	17 (18)	4 (2)	2 (1)	4 (1)	30 (25)	
資 金 繰 り	好 転	1 (0)	3 (3)	0 (0)	1 (0)	3 (2)	8 (5)	▲ 2.0 (▲5.0)
	不 変	6 (7)	50 (49)	11 (11)	10 (11)	5 (7)	82 (85)	
	悪 化	0 (0)	8 (9)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	10 (10)	
従 業 員	増 加	0 (0)	6 (7)	1 (1)	0 (0)	2 (2)	9 (10)	▲ 5.0 (▲2.0)
	不 変	6 (6)	46 (46)	10 (10)	10 (11)	5 (5)	77 (78)	
	減 少	1 (1)	9 (8)	0 (0)	1 (0)	3 (3)	14 (12)	

※ 採算は経常利益で判断

※ () 内は来期

新規設備投資集計表 (全業種100事業所)

表 4

設 備 投 資	今 期	実施した ※1	28	来 期	計画している ※2	24
	(事業所数)	実施していない	72	(事業所数)	計画していない	76

	※ 1	※ 2		※ 1	※ 2
1. 土 地	2 件	5 件	5. 付 帯 施 設	6 件	7 件
2. 工 場 建 物	3 件	4 件	6. O A 機 器	8 件	5 件
3. 生 産 設 備	10 件	12 件	7. 福 利 厚 生 施 設	2 件	2 件
4. 車 両 ・ 運 搬 具	5 件	7 件	8. そ の 他	2 件	4 件
複数回答可			合 計	38 件	46 件

業 種 別 集 計 表 (繊維製造業49事業所)

～ 前 年 同 期 比 ～

表 5

	事業所数	6	22	10	3	8	49	D I
		燃糸加工	織物製造	染色整理	縫製加工	その他	合計	
業況	好転	1 (0)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	2 (2)	7 (6)	▲ 18.4
	不変	2 (4)	11 (12)	5 (7)	3 (3)	5 (5)	26 (31)	
	悪化	3 (2)	9 (8)	3 (1)	0 (0)	1 (1)	16 (12)	(▲12.2)
売上	増加	1 (0)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	4 (2)	9 (6)	▲ 22.4
	不変	2 (4)	8 (13)	4 (7)	3 (1)	3 (5)	20 (30)	
	減少	3 (2)	12 (7)	4 (1)	0 (2)	1 (1)	20 (13)	(▲14.3)
採算	好転	1 (0)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	2 (2)	5 (4)	▲ 20.4
	不変	2 (4)	14 (13)	5 (7)	3 (2)	5 (5)	29 (31)	
	悪化	3 (2)	7 (8)	4 (2)	0 (1)	1 (1)	15 (14)	(▲20.4)
資金繰り	好転	1 (0)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (1)	3 (3)	▲ 8.2
	不変	4 (5)	17 (16)	8 (8)	3 (3)	7 (6)	39 (38)	
	悪化	1 (1)	4 (5)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	7 (8)	(▲10.2)
従業員	増加	0 (0)	2 (2)	0 (1)	0 (0)	2 (3)	4 (6)	▲ 6.1
	不変	6 (5)	17 (18)	9 (9)	2 (1)	4 (4)	38 (37)	
	減少	0 (1)	3 (2)	1 (0)	1 (2)	2 (1)	7 (6)	(0.0)

※ 採算は経常利益で判断

新規設備投資集計表 (繊維製造業49事業所)

表 6

設備投資	今 期	実施した ※1	13	来 期	計画している ※2	11
	(事業所数)	実施していない	36	(事業所数)	計画していない	38

	※ 1	※ 2		※ 1	※ 2
1. 土 地	0 件	1 件	5. 付 帯 施 設	1 件	3 件
2. 工 場 建 物	0 件	1 件	6. O A 機 器	3 件	1 件
3. 生 産 設 備	8 件	6 件	7. 福 利 厚 生 施 設	1 件	0 件
4. 車 両 ・ 運 搬 具	1 件	3 件	8. そ の 他	0 件	2 件
複数回答可			合 計	14 件	17 件

景 況 の 推 移 (全業種100事業所)

表 7

～ 前 期 比 ～

	H30.1～3月	H30.4～6月	H30.7～9月	H30.10～12月	今 期 H31.1～3月
業 況	▲21.0	10.1	▲12.0	▲ 9.0	▲17.0
売 上	▲34.0	18.2	▲ 9.0	0.0	▲27.0
資金繰り	▲13.0	▲ 3.0	▲ 6.0	▲ 1.0	▲10.0

業 種 別 集 計 表 (全業種100事業所)

表 8

～ 前 期 比 ～

	事業所数	7	61	11	11	10	100	D I
		建 設 業	製 造 業	卸 売 業	小 売 業	サービス業	合 計	
業 況	好 転	1	8	1	1	1	12	▲ 17.0
	不 変	5	36	6	7	5	59	
	悪 化	1	17	4	3	4	29	
売 上	増 加	2	11	3	5	2	23	▲ 27.0
	不 変	3	18	3	2	1	27	
	減 少	2	32	5	4	7	50	
資 金 繰 り	好 転	0	1	0	1	0	2	▲ 10.0
	不 変	7	52	11	9	7	86	
	悪 化	0	8	0	1	3	12	

景 況 の 推 移 (繊維製造業49事業所)

表 9

～ 前 期 比 ～

	H30.1～3月	H30.4～6月	H30.7～9月	H30.10～12月	今 期 H31.1～3月
業 況	▲30.6	20.8	▲16.3	▲16.3	▲12.2
売 上	▲46.9	37.5	▲16.3	▲26.5	▲32.7
資金繰り	▲20.4	▲ 2.1	▲ 4.1	▲ 4.1	▲12.2

業 種 別 集 計 表 (繊維製造業49事業所)

表 10

～ 前 期 比 ～

	事業所数	6	22	10	3	8	49	D I
		撚糸加工	織物製造	染色整理	縫製加工	そ の 他	合 計	
業 況	好 転	0	4	1	1	1	7	▲ 12.2
	不 変	4	11	6	2	6	29	
	悪 化	2	7	3	0	1	13	
売 上	増 加	0	4	2	1	2	9	▲ 32.7
	不 変	2	5	4	1	3	15	
	減 少	4	13	4	1	3	25	
資 金 繰 り	好 転	0	1	0	0	0	1	▲ 12.2
	不 変	4	18	9	3	7	41	
	悪 化	2	3	1	0	1	7	

『直面している経営上の問題点』の集計表

表 11

(全業種上位3位)

業 種 順位	内 容		
	1 位	2 位	3 位
建 設 業	○従業員の確保難	○官公需要の停滞 ○民間需要の停滞	○請負単価の低下・ 上昇難
繊維製造業	○需要の停滞	○原材料価格の上昇	○製品ニーズの変化 への対応
製 造 業 (繊維製造業は除く)	○生産設備の不足・ 老朽化	○従業員の確保難 ○需要の停滞	○原材料価格の上昇
卸 売 業	○需要の停滞	○仕入単価の上昇	○販売単価の低下・ 上昇難
小 売 業	○販売単価の低下・ 上昇難	○仕入単価の上昇	○大型店・中型店の 進出による競争の 激化
サービス業	○従業員の確保難	○人件費の増加	○需要の停滞

『直面している経営上の問題点』の集計表

建設業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	0
材料価格の上昇	2
材料の入手難	0
人件費の増加	3
材料費・人件費以外の経費の増加	0
請負単価の低下・上昇難	6
下請単価の上昇	0
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	0
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	11
熟練技術者の確保難	0
下請業者の確保難	0
官公需要の停滞	10
民間需要の停滞	10
その他	0
合 計	42

繊維製造業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	7
新規参入業者の増加	2
製品ニーズの変化への対応	34
生産設備の不足・老朽化	24
生産設備の過剰	2
原材料価格の上昇	40
原材料の不足	4
人件費の増加	32
原材料費・人件費以外の経費の増加	3
製品(加工)単価の低下・上昇難	21
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	0
事業資金の借入難	5
従業員の確保難	27
熟練技術者の確保難	19
需要の停滞	50
その他 (生産計画の誤り、外注先の高齢化による減少、 輸入品増加、物流)	10
合 計	280

※ 1 位 … … 3 ポ イ ン ト
 2 位 … … 2 ポ イ ン ト
 3 位 … … 1 ポ イ ン ト

『直面している経営上の問題点』の集計表

製 造 業 (繊維製造業は除く)

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	3
新規参入業者の増加	0
製品ニーズの変化への対応	2
生産設備の不足・老朽化	13
生産設備の過剰	0
原材料価格の上昇	10
原材料の不足	0
人件費の増加	6
原材料費・人件費以外の経費の増加	0
製品(加工)単価の低下・上昇難	5
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	0
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	12
熟練技術者の確保難	3
需要の停滞	12
その他	0
合 計	66

卸 売 業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	1
メーカーの進出による競争の激化	0
小売業の進出による競争の激化	3
新規参入業者の増加	1
店舗・倉庫の狭隘・老朽化	0
商品在庫の過剰	3
人件費の増加	0
人件費以外の経費の増加	3
販売単価の低下・上昇難	8
仕入単価の上昇	15
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	4
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	5
需要の停滞	18
その他 (飲食店の個人経営店の減少による売上減)	2
合 計	63

※ 1 位 … … 3 ポ イ ン ト
 2 位 … … 2 ポ イ ン ト
 3 位 … … 1 ポ イ ン ト

『直面している経営上の問題点』の集計表

小 売 業

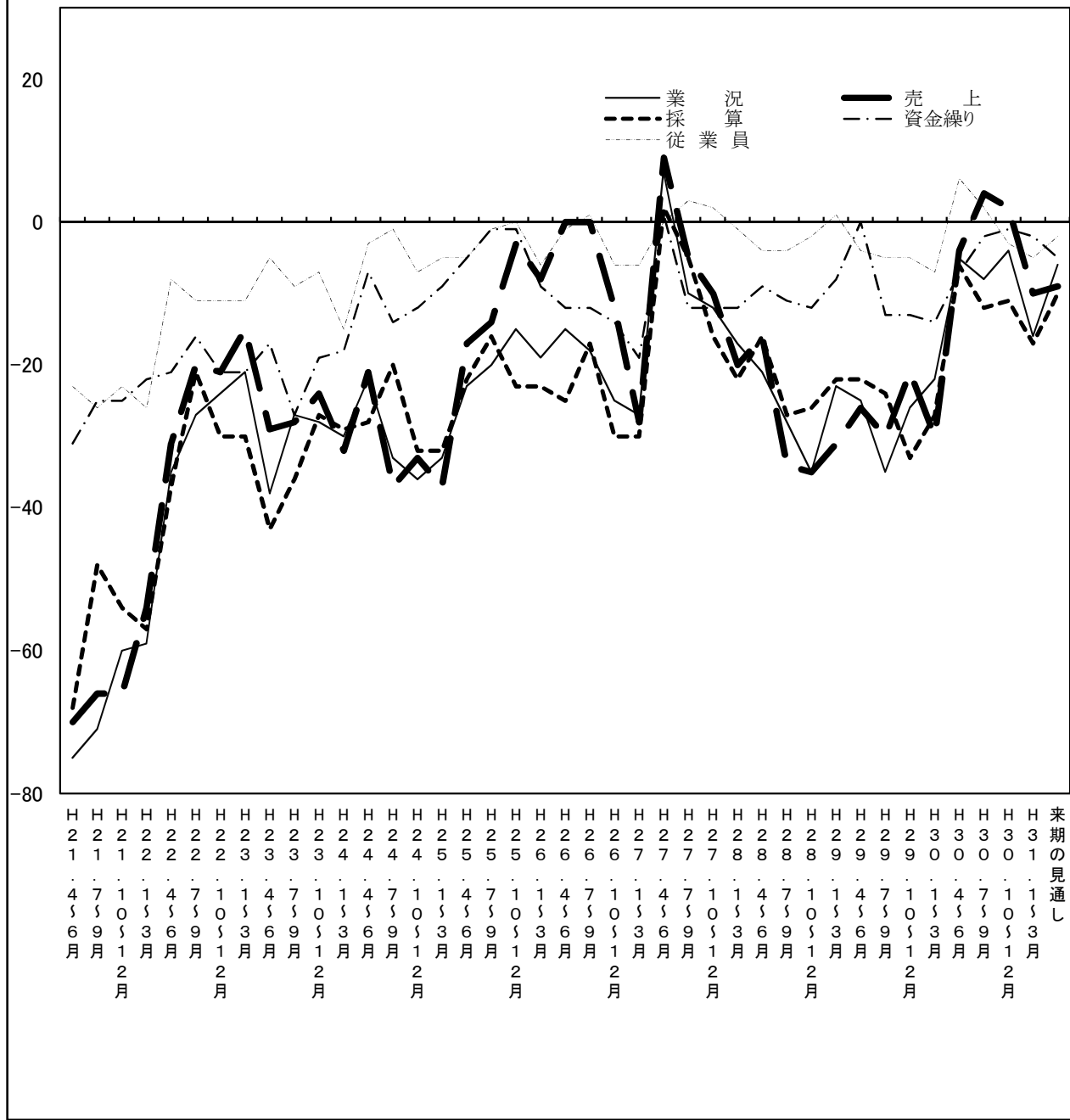
内 容	ポイント
大型店・中型店の進出による競争の激化	7
同業者の進出	5
購買力の他地域への流出	5
消費者ニーズの変化への対応	6
店舗の狭隘・老朽化	0
駐車場の確保難	0
商品在庫の過剰	0
人件費の増加	0
人件費以外の経費の増加	0
販売単価の低下・上昇難	10
仕入単価の上昇	8
金利負担の増加	2
代金回収の悪化	0
事業資金の借入難	3
従業員の確保難	0
需要の停滞	4
その他	0
合 計	50

サ ー ビ ス 業

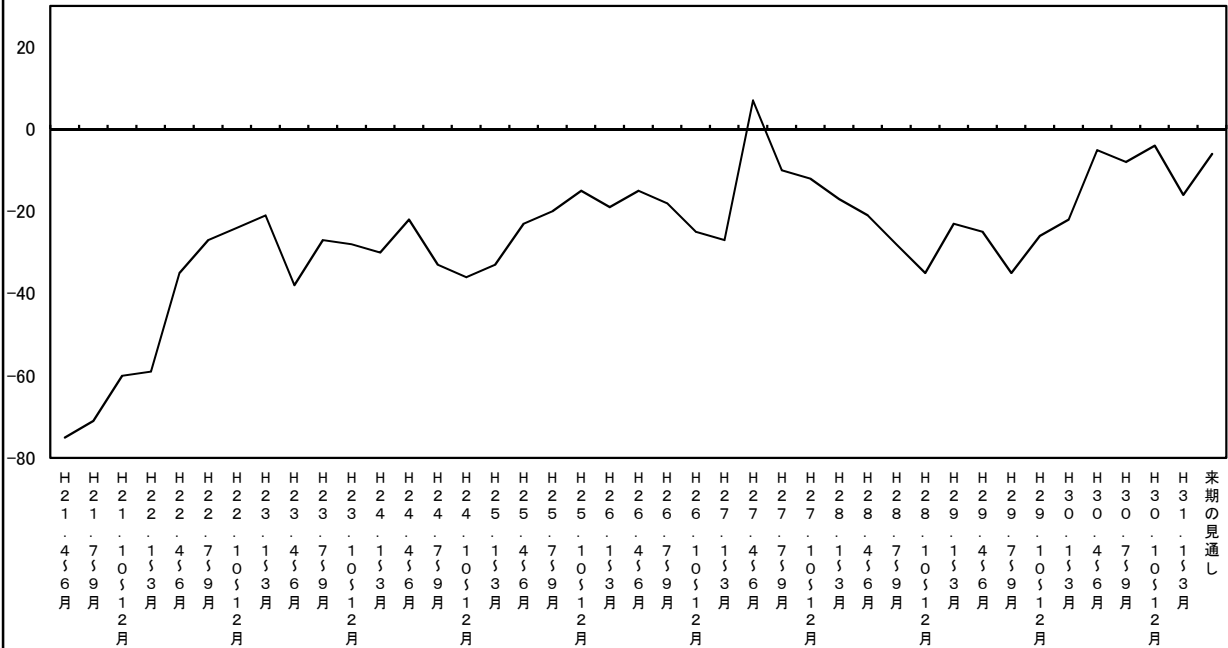
内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	2
新規参入業者の増加	3
利用者ニーズの変化への対応	5
店舗施設の狭隘・老朽化	4
人件費の増加	13
人件費以外の経費の増加	0
利用料金の低下・上昇難	1
材料等仕入単価の上昇	2
金利負担の増加	0
事業資金の借入難	2
従業員の確保難	15
熟練技術者の確保難	3
需要の停滞	6
その他 (働き方改革の問題)	2
合 計	58

※ 1 位 … … 3 ポ イ ン ト
 2 位 … … 2 ポ イ ン ト
 3 位 … … 1 ポ イ ン ト

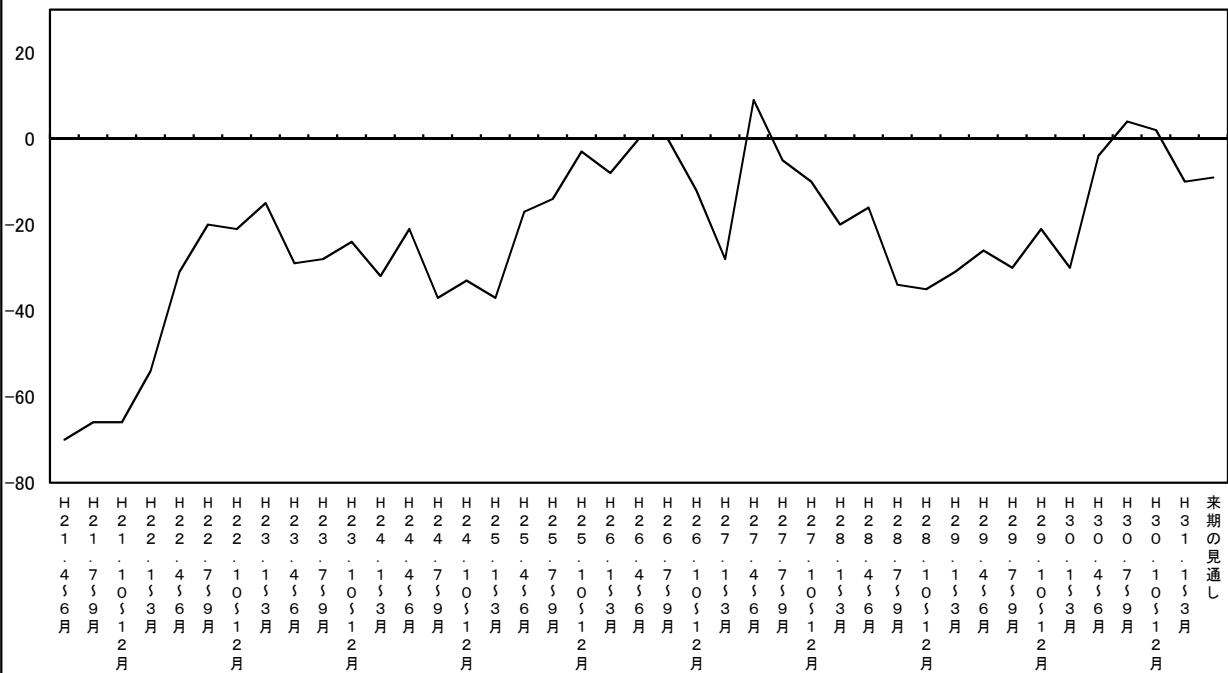
景況 DI (全業種) ー前年同期比ー



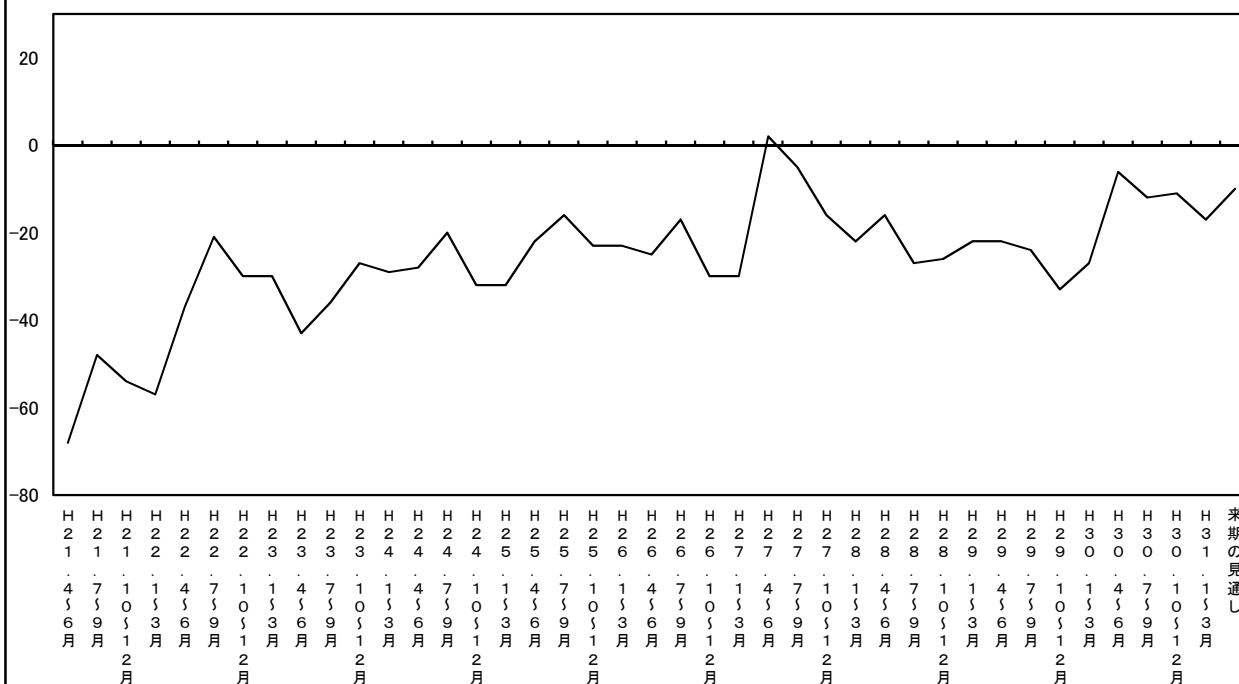
業 況 DI ー前年同期比ー



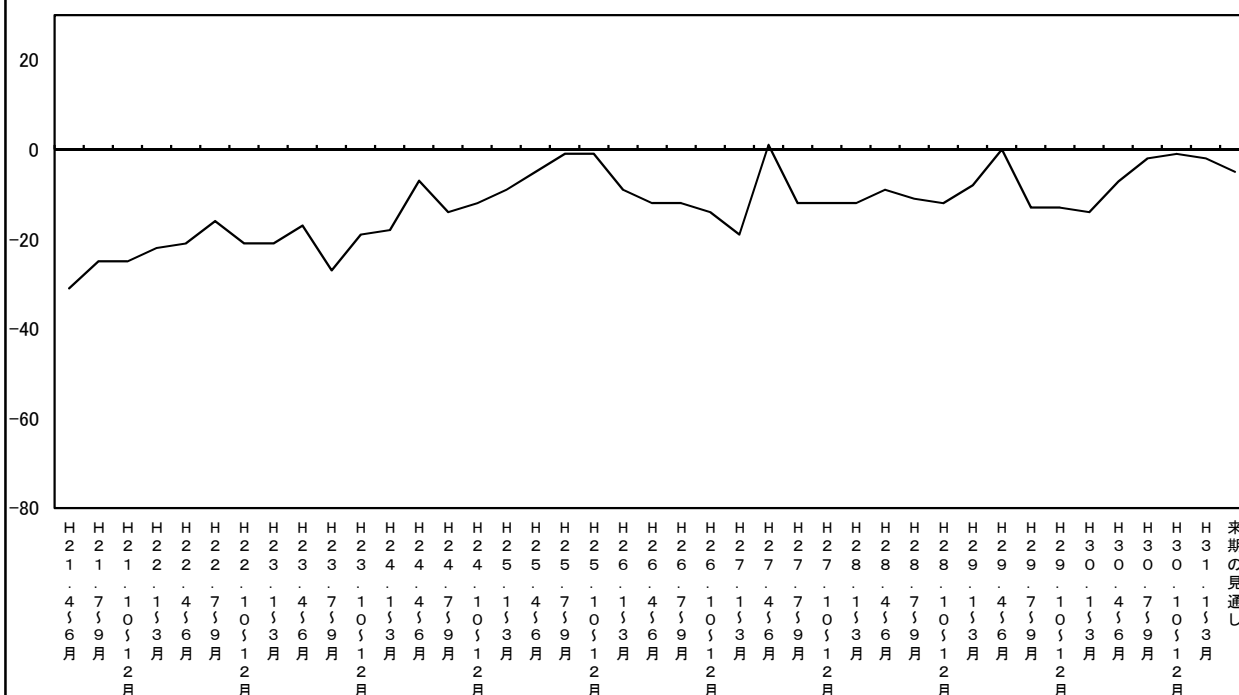
売 上 DI ー前年同期比ー



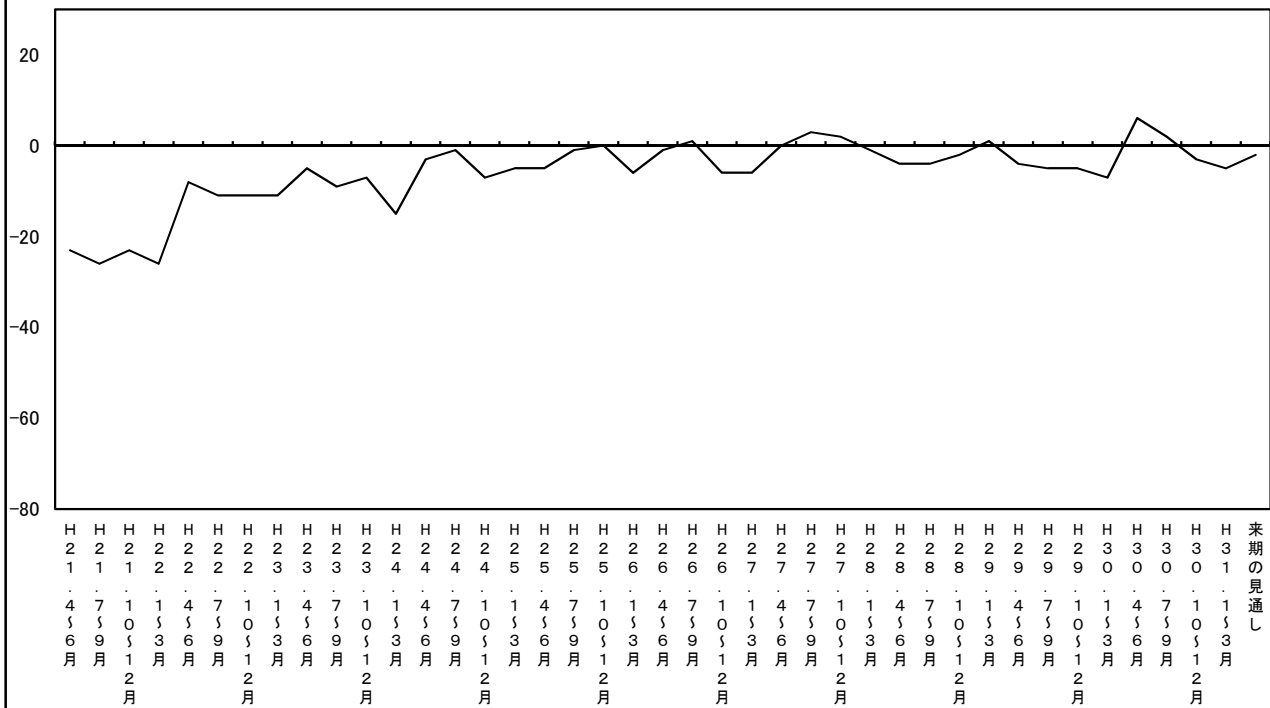
採 算 DI ー前年同期比ー



資金繰り DI ー前年同期比ー



従 業 員 DI ー前年同期比ー





一 宮 商 工 会 議 所
中 小 企 業 相 談 所

一宮市栄四丁目6番8号 (〒491-0858)

T E L (0586) 72-4611

F A X (0586) 72-4411

U R L <http://www.ichinomiya-cci.or.jp>

E-mail soudan@ichinomiya-cci.or.jp